食彩フェア　～一緒にプルーンジャム作りませんか～

１０月８日（土）にイトーヨーカドーアリオ札幌店で「農業高校食彩フェア」が開催されました。「食彩フェア」には、道内１１の農業高校の生徒が生産したカボチャ、ジャガイモなどの野菜や、ジャム、バター、パウンドケーキなどの加工品が販売されていました。当日の準備をしている最中、イトーヨーカドーアリオ札幌店が１０時から開店するにも関わらず、その前から大勢のお客さんが並んでいたのを見て、お客さんからも、とても楽しみにしてくれたのだと感じました。そんな大きなイベントに余市紅志高校も参加し、お客さんと一緒に作る「プルーンジャム作り体験」を開催しました。先日参加した、「よいち大好きフェスティバル」での経験から、何をすれば良いのかを把握していたので、スムーズに進行することができました。一緒に作ったお客さんから、「家に帰ったら早速食べるよ、ありがとう。」、「丁寧に教えてくれてありがとう。」などと言ってくださいました。また、生徒は「１年に１回の大きなイベントに提供側として参加することは、普通じゃ絶対経験できないことなので、貴重な体験をさせていただいてとてもうれしかったです。」と、言っていました。

総合学科研究発表大会　～豊かで安心して住み続けられる地域づくりを目指して～

総合学科研究発表会とは、総合学科である本校の最大の行事となっています。

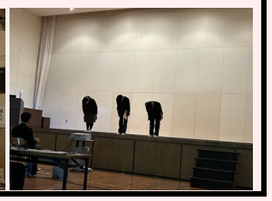
今年も3年次生が「課題研究Ⅱ」の授業で1年間通して研究してきた内容を発表しました。

今年度は５つのグループが多様な視点から余市町の活性化を考えながら町内の企業や団体にご協力いただき、研究を進めてきました。

各グループともこれまでの先輩方が取り組んできたものを引き継ぎ、成果や新しく取り組んだことをパワーポイントにまとめ発表しました。

１グループ持ち時間は8分以上10分以内を目安に行っています。また、審査を行い最優秀賞に選ばれたグループは、本校の代表として、1月25日に札幌市で行われる全道大会に出場します。

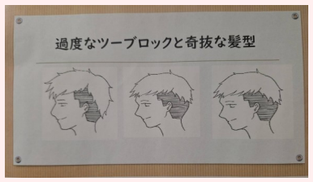
今年は「出張型バリアフリー農園がつくる“楽しい”をデザインする」を発表した福祉班が出場権を獲得しました。本校代表として頑張ってきてほしいです。また、審査員として 北海道教育庁 学校教育局 指導担当局長 山城 宏一様、余市町 教育委員会 教育部長 浅野 敏明様、余市町 総務政策部 政策推進課 課長 橋端 良平様にお忙しい中ご来校いただき、ご講評をいただきました。貴重なアドバイスを今後に生かしていきたいと思います。

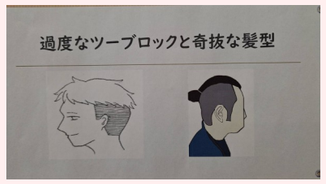


校則見直し委員会　～ツーブロック解禁へ～

１１月６日の全校集会で、校則見直し委員会が本校の校則である「ツーブロック禁止」を廃止するための調査結果を報告しました。今年の３月に、ある生徒が「ツーブロックを認めてほしい」という声をあげ、それについて校則見直し委員会が調査していました。３年前にも同じ調査をしていて、その時の調査結果は200件ほどの企業、専門学校等からのアンケート結果から「ツーブロックを認めない」という結論になりました。ですが、近年、髪型への規制が緩くなっている企業などが増えてきているため、ツーブロックをしている高校生にどんな印象を持っているかなども含めて再び調査しました。調査の対象、方法として２年次生のインターンシップ先１８の企業様へアンケートを実施しました。

アンケートの結果は、後頭部までなどの広い範囲でブロックを入れると威圧感などにより悪い印象を持つ企業が多かったが、もみあげや耳の周りまでなら涼しげな印象を持つ企業が多かったなどのことから、過度なツーブロックはこれからも禁止ですが、軽度のツーブロックなら良いことになりました。生徒のために調査を続けてくれた校則見直し委員会の皆さんありがとうございました。





クイズの答えは　②８１人　でした！！

北海道余市紅志高等学校　学校通信

道　程

令和５年１２月２５日
第７４号

発行　北海道余市紅志高等学校
学校ＰＲ局

生徒が作る学校新聞「道程」第74号をお届けします

2023年も残すところわずかとなりました。

今年は、コロナ禍で失われたこ数年間の間に下準備をしてきた活動が本格的に始動した年でした。

本校教育の実現を担う教育活動のテーマは「豊かに、安心して住み続けられる地域づくり」です。そのテーマの実現に向け、ワインの生産販売は３年間の試行を経てようやく生徒による販売にまでこぎ着けました。また、余市養護学校との学校連携において、高等部の生徒の皆さんにとって将来の働き方選択の一助になることを期待して取り組んだ、コラボレーション製品の作成、販売、そして農作業とのマッチングを目的とした農福連携事業、さらに、身体の不自由な高齢者が菜園に親しめるようバリアフリー菜園の設置および合同での播種、収穫、調理実習も実現しました。昨年に引き続き余市町商店街スタンプラリーも実施、北海道イオンが募集した高校生コロッケのアイディアをイオン余市店に採用していただき、販売することもできました。町内在住の外国人が少しでも安心して生活できるよう英語による防災マップも作成しました。いずれもまだまだ改善の余地があり、地域の皆さまに育てていただかなくてはならないことが山積しておりますが、「地域の生徒を地域で育てる」という教育環境は地方ならではの長所だと思っております。

来る2024年が皆さまにとって素晴らしい年となりますよう。また、引き続き本校生徒の活動を支えていただきますようお願い申し上げます。　（校長　生　田　仁　志）

← 余市町物産展に参加しました

札幌地下歩行空間にて開催された余市町物産展に高校生ワインを出品しました。持ち込んだ高校生ワイン４８本は４時間ほどでほぼ完売でした。町内販売に先駆け札幌市民の反応を確かめられました。

認知症カフェを余市テラスにて開催　→

余市町社会福祉協議会主催の認知症カフェの企画・運営を担当しました。参加者同士の語らいや高校生とのおしゃべり、認知症予防のためのゲームなど、とても楽しい時間を作ることができました。

イオン余市店にて養護学校生徒と販売実習　→

昨年から準備を進めてきた余市養護学校との共同開発製品「プルーンジャムセット」の販売が実現しました。養護学校の生徒が作り続けてきた木製のスプーンとプルーンジャムのセット販売です。

演 劇 部
全国高校演劇研究大会（春フェス）
北海道代表！
福島県へ

祝

櫻井 羽奈 さん
ユースオリンピック2024
スキージャンプ　日本代表決定　韓国へ

～3泊4日の見学旅行～

高校生活最大のイベントである見学旅行に２年次生が参加しました！
３泊４日の様子を紹介します

☆１０月１１日、２年次最大の行事、３泊４日の見学旅行が始まりました。
　１日目は新千歳空港から大阪空港に移動した後、夕方に清水寺へ行きました。木々が色づき始めているのを見て、季節の移ろいを感じられる時間を送りました。

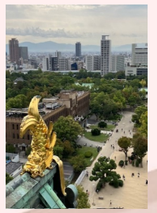
清水の舞台

東寺の五重塔

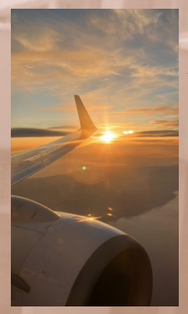
　２日目は東寺に行き五重塔を見に行った後、自主研修をしました。一緒にどこに行こうか、何を食べようか、どの時間のバスに乗れば行けるかなど、ずっと前から班のみんなと計画していたので見学旅行の中で一番楽しみにしていた生徒もいたのではないでしょうか。金閣寺や平安神宮、伏見稲荷大社に行ったりした班や京都料理を食べまわるグルメ巡りをした班、着物を着たりして京都ならではの体験をした班もいたそうです。

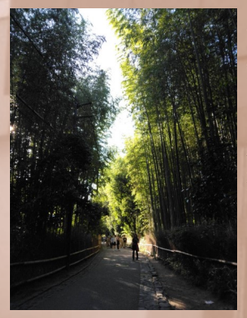
ポケモンのライブ

　３日目は京都から大阪に移動した後、USJへ行きました。自主研修と同じ班でフライングダイナソーなどのアトラクションに乗ったり、レストランでご飯を食べたりしました。また、ハロウィンイベントが開催されていて、昼は人気キャラクターのパレードやポケモンのライブをしていましたが、夜になるとUSJ内にゾンビが歩いていて怖かったです。


大阪城しゃちほこ

　４日目は大阪城へ行き歴史を感じた後、道頓堀で自由に食べ歩きをしました。大阪で有名なたこ焼きや串カツはどれも安く、それ以外にも１０円パンなどのいろんな屋台が開かれていて食い倒れの町にふさわしいコスパでした。
　帰宅後は疲労ですぐ寝てしまった人や、迎えに来てくれた家族にお土産話をした人もいたそうです。また、休み明けは他の学年の先生に話を聞かせたり、友達と思い出話で笑い合いました。コロナの規制がかなり緩くなって見学旅行本来の自由さが取り戻され、高校生活一番の思い出になりました。


飛行機からの夕日


心の安らぎ（竹林）

京都を支えてきた川（鴨川）

USJでの集合写真

ハリーポッターエリアお城

有名なグリコサイン

大阪のたこ焼き

解団式

～体育文化交流大会～

本校では運動の得意・不得意に関係なくみんなが楽しめる大会となっています！
白熱した１日の様子を紹介します

　３年生にとっては最後の全年次が楽しむ事ができる行事、「体育文化交流大会」が１２月１日に開催されました。今年は体育部門でバレーボール、バドミントン、文化部門ではオセロ、ジェンガ、お絵かきリレー、お絵かきですよ、NEWスポーツ部門ではモルック、ディスコン、ボッチャ、フロアカーリングを行いました。この行事では運動が苦手な人でも文化部門で活躍することが出来ます。体育部門でも文化部門でも生徒全員が楽しんでいました。総合優勝は3年次でした。最後の行事で思い出に残すことができたのではないでしょうか。2年次も優勝まであと一歩というところで結果は2位でした。2年目の行事で楽しむこととしっかりと勝負することをうまく両立することができていたと思います。1年次は初めてで緊張していたと思いますが純粋な気持ちで楽しんでいたと思います。また、緊張していたとは思いますが見事にバレーボールとバドミントンで1位を取り、しっかりと結果を残すことができました。来年に期待できますね。
　また、お昼休憩の時間には学校PR局が作成した「映えスポット」にたくさんの生徒が訪れ、友達との写真などを撮りいい思い出になりました。
どの年次も応援の仕方や楽しみ方には個性があってとても良い行事になりました！！

体育部門
（バレーボール）

文化部門
（ジェンガ）

NEWスポーツ
（ボッチャ）

映えスポットにて
PR局　記念撮影

クイズ　「現在の余市紅志高校の全校生徒は何人でしょうか？」①71人　②81人　③91人　答えは4面